

## 中国思想専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国思想概論	先秦兩漢思想史概説	2	齋藤 智寛	前期 火曜日 1 講時	
中国思想概論	中国近代思想史概説	2	三浦 秀一	後期 火曜日 1 講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	齋藤 智寛	後期 火曜日 5 講時	
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	三浦 秀一	前期 火曜日 5 講時	
中国思想各論	隋・初唐思想史の諸問題	2	齋藤 智寛	後期 木曜日 2 講時	
中国思想各論	「場所」から語る中国近世儒学史	2	早坂 俊廣	前期集中 その他 連講	
中国思想各論	明代の儒仏道三教思想	2	三浦 秀一	前期 木曜日 2 講時	
中国思想演習	中国思想関係論文講読	2	齋藤 智寛	前期 水曜日 2 講時	
中国思想演習	『大学或問』講読	2	三浦 秀一	後期 水曜日 2 講時	

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB32101 科目ナンバリング：LHM-PHI202J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：先秦兩漢思想史概説

2. Course Title (授業題目)：Intellectual history in ancient China

3. 授業の目的と概要：殷代より後漢末まで、諸子百家の書や儒家の古典が形成された先秦時代に始まり、秦漢による学術の統一を経て、後漢における合理思想や道教の誕生に至るまでの思想史を概説する。講義では、日本語に翻訳された代表的な思想文献を紹介しながら、当該時期の諸思想について解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course makes a general survey of intellectual history of the Shang (商) dynasty to the Eastern Han (後漢) dynasty, started from the philosophy of "the hundred philosophers" and the Confucian Canon, through the unification of scholarship in the Qin-Han period, to the appearance of the rationalisms and the religious Daoism in the Eastern Han. This course explains development of intellectual history of this period, introducing some famous philosophical works by Japanese translation.

5. 学習の到達目標：

講義で取り上げられた諸思想と歴史的背景とについて理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：This course helps students understand various thought of medieval China and its historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入。「中国」「思想」とは何か。

2. 中国思想のあけぼの 1：『書経』と『詩経』に見る古代中国の思想

3. 中国思想のあけぼの 2：『論語』に見る孔子の思想

4. 戦国諸子百家の思想 1：『老子』と『莊子』の思想

5. 戦国諸子百家の思想 2：『墨子』の思想

6. 戦国諸子百家の思想 3：『孟子』と『荀子』の思想

7. 戦国諸子百家の思想 4：『韓非子』と法家思想およびその他の諸子百家の思想

8. 諸子百家の総括：『莊子』天下篇と司馬談「六家之要指」

9. 前漢武帝期の思想：『淮南子』と

董仲舒

10. 後漢の合理思想：桓譚『新論』と王充『論衡』の思想

11. 後漢末期の学術と思想：儒教經典の整理および政治思想について

12. 道教の萌芽：『太平経』の思想

13. 出土物から見た古代中国思想 1：甲骨文字と金文に見る先秦の思想

14. 出土物から見た古代中国思想 2：馬王堆帛書から見る前漢の思想

15. まとめ

8. 成績評価方法：

中間レポート (50%)、学期末レポート (70%)

9. 教科書および参考書：講義中に随時紹介する。

10. 授業時間外学習：紹介された参考書は積極的に読むこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB42101 科目ナンバリング：LHM-PHI202J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近代思想史概説

2. Course Title (授業題目)：Intellectual History of Modern China

3. 授業の目的と概要：二千年ものあいだ続いてきた王朝体制が終焉を迎えようとしていた清末期から、欧米をモデルとした新たな政治体制のもとで人々が活動を始めた民国初期という変動の時代において、中国の知識人たちは如何なる思想を構想し、また相互にその思想を磨き合ったのか。授業では、いわゆる中国近世前期思想史上のトピックを個別に取り上げ、原典の翻訳文を参考にしながら、人々による思索をあとづける。清末期中体西用論、変法思想、革命思想、民国初期における国共合作の思想などが、取り上げる予定のトピックである。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course covers the intellectual history of Modern China to help students understand the characteristics of Chinese literati from a historical and philosophical perspective through reading some sources translated into Japanese .

5. 学習の到達目標：

清末民国初期に活躍した様々な知識人による思想的言動を、その時代背景とともに理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand the ideological activities of various intellectuals who were active in modern China, along with their historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：清朝後期の政治的課題と知識人

第3回：清朝後期の民衆叛乱（白蓮教・太平天国）

第4回：中体西用論①（王韜・鄭観応）

第5回：中体西用論②（張之洞）

第6回：変法思想の諸相①（康有為・何啓・胡礼垣）

第7回：変法思想の諸相②（楊文会・譚嗣同）

第8回：変法思想の諸相③（嚴復・梁啓超）

第9回：清末の革命思想①（孫文・章炳麟）

第10回：清末の革命思想②（民報・新民叢報）

第11回：清末の革命思想③（劉師培・何震）

第12回：辛亥革命以後の論争①（蔡元培・陳独秀・李大釗）

第13回：辛亥革命以後の論争②（李大釗・胡適）

第14回：辛亥革命以後の論争③（東西文明論・陳独秀・杜亜泉）

第15回：辛亥革命以後の論争④（中国共産党・国民党）

8. 成績評価方法：

3回の課題レポートによって成績を判断する。

9. 教科書および参考書：教科書は使用せず、事前にプリントを配布し、授業時にはそれにもとづいて解説をおこなう。参考書は講義のなかで紹介する。

Instead of using textbooks, prints will be distributed in advance, and explanations will be given based on them during class.

10. 授業時間外学習：事前に配付されたプリントには、必ず目を通しておく。また、レポート作成の準備を兼ねて、講義時に解説を加えたプリントを読み直すとともに、関連する概説書や研究書・研究論文などを閲読し、理解内容を整理する。

Be sure to read the pre-distributed prints.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：特になし。

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 火曜日 5 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB42501 科目ナンバリング：LHM-PHI209J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 2

2. Course Title (授業題目)：Primary reading for Chinese Thought 2

3. 授業の目的と概要：句読点が施された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This semester we will be reading some texts of Chinese philosophy. The purpose of this course is to be familiar with thinking method and retric of philosophical texts.

5. 学習の到達目標：

句読点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students read Chinese philosophical text with punctuation marks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1、導入

2、中国思想原典会読 (1)

3、中国思想原典会読 (2)

4、中国思想原典会読 (3)

5、中国思想原典会読 (4)

6、中国思想原典会読 (5)

7、中国思想原典会読 (6)

8、中国思想原典会読 (7)

9、中国思想原典会読 (8)

10、中国思想原典会読 (9)

11、中国思想原典会読 (10)

12、中国思想原典会読 (11)

13、中国思想原典会読 (12)

14、中国思想原典会読 (13)

15、中国思想原典会読 (14)

8. 成績評価方法：

予習と討論への参加状況 (100%)

9. 教科書および参考書：教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

10. 授業時間外学習：辞書を引き、訓読と現代日本語訳を準備すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB32501 科目ナンバリング：LHM-PHI209J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想文献講読・初級 1

2. Course Title (授業題目)：Introduction to Chinese Philosophical Classics 1

3. 授業の目的と概要：思想的な内容をもつとともに、訓点などが施された中国古典のテキストに対し、受講者各自が訓読や現代語訳、注解をおこなう。そうした訓練を重ねるなかで、高校段階における「漢文訓読」のレベルを超え、中国の古典文に対する深い読解が可能になるような基礎力を身につける。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly and to examine the sources entirely, which are foundations of learning Chinese philosophy. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of this course.

5. 学習の到達目標：

思想系の中国古典文において特徴的な語彙や語法を知るとともに、古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese along the specific philosophical contexts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：中国古典文の読解と討論 (1)

第3回：中国古典文の読解と討論 (2)

第4回：中国古典文の読解と討論 (3)

第5回：中国古典文の読解と討論 (4)

第6回：中国古典文の読解と討論 (5)

第7回：中国古典文の読解と討論 (6)

第8回：中国古典文の読解と討論 (7)

第9回：中国古典文の読解と討論 (8)

第10回：中国古典文の読解と討論 (9)

第11回：中国古典文の読解と討論 (10)

第12回：中国古典文の読解と討論 (11)

第13回：中国古典文の読解と討論 (12)

第14回：中国古典文の読解と討論 (13)

第15回：中国古典文の読解と討論 (14)

8. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容 (50%)、討論への参加度 (50%)

9. 教科書および参考書：教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：漢和辞典を活用した、徹底的な予習。

Thorough preparation using a Chinese-Japanese character dictionary.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB64204 科目ナンバリング：LHM-PHI302J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：隋・初唐思想史の諸問題

2. Course Title (授業題目)：Chinese thought in the Sui-Early Tang period

3. 授業の目的と概要：唐・道宣『続高僧伝』の習禅篇、感通篇、護法篇などを材料に、仏教と士大夫思想との交渉、世界観、三教交渉といった中国中世宗教思想の諸問題について考察する。『続高僧伝』の記事を『広弘明集』『集古今仏道論衡』などの道宣によるその他の編纂物や、同時代の仏教史書の記述とも比較しつつ、仏教史研究の資料とする視点と、道宣の思想や太宗朝の思潮をうかがう視点とから論じたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course provides explanations of various kind of topics about Buddhism in medieval China, such as the layman Buddhism, the world view and the ideological exchange between three teachings, focusing on the some chapters of the Xu Gaoseng Zhuan(續高僧傳) such as the chapter of dhiyana practitioners, the chapter of miracle monks and the chapter of protencion of Buddhism. These hagiographies will be read various points of view in this course, such as a history of medieval Chinsese Budddhism or philosophical texts which remain thought of Daoxuan and Buddhists in the Taizong (太宗) period. The course also compares the Xu Gaoseng Zhuan with other Daoxuan's works such as the Guang Hongming Ji(廣弘明集), the Ji Gujin Fodao Lunheng(集古今佛道論衡) or Buddhist histories in the early Tang.

5. 学習の到達目標：

講義で取り上げた諸資料の成り立ちと内容を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course helps students understand formation and contents of biographies of eminent monks.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1、導入
- 2、『続高僧伝』と士大夫の仏教理解(1)
- 3、『続高僧伝』と士大夫の仏教理解(2)
- 4、『続高僧伝』と士大夫の仏教理解(3)
- 5、『続高僧伝』と士大夫の仏教理解(4)
- 6、『続高僧伝』と士大夫の仏教理解(5)
- 7、『続高僧伝』と道宣の世界観(1)
- 8、『続高僧伝』と道宣の世界観(2)
- 9、『続高僧伝』と道宣の世界観(3)
- 10、『続高僧伝』と道宣の世界観(4)
- 11、『続高僧伝』と道宣の世界観(5)
- 12、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(1)
- 13、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(2)
- 14、『続高僧伝』護法篇と道宣のその他の編著(3)
- 15、まとめ

8. 成績評価方法：

レポート(100%)

9. 教科書および参考書：講義中に随時紹介する。

10. 授業時間外学習：講義で取り上げた高僧伝類の原典や、紹介された参考書は積極的に読むこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：5 単位数：2

担当教員：早坂 俊廣

コード：LB98809 科目ナンバリング：LHM-PHI302J 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：「場所」から語る中国近世儒学史
2. Course Title (授業題目)：Neo Confucianism from the perspective of place
3. 授業の目的と概要：中国近世儒学史（宋代から清代初期までの儒学思想史）を、「場所」（人々が密集し、密接な交流をおこなう空間）に視点を据えて検討する。「人々が集い、共に語らう場所」に於ける討議や交流、学術継承の営みや「長く語り継がれる場所」をめぐる記憶と記録、語り継がれる場所の物語等を多角的に分析する。扱う地点としては、現在の浙江省・江蘇省・江西省・安徽省を、扱う思想家としては、朱熹、陸九淵、楊簡、王守仁、王畿、羅洪先、劉宗周、黄宗羲、邵廷采、萬斯同、全祖望らを想定している。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will understand the history of NeoConfucianism from the perspective of "place" (a space where people gather and interact closely). The lecturer explains the discussions and exchanges in "a place where people gather and talk together", the activities of academic succession, the memories and records of "a place that can be handed down for a long time", and the stories that are handed down from various angles.
5. 学習の到達目標：
  - ・中国近世儒学史について理解を深めることができた。
  - ・伝統中国における学問・思想のあり方について理解を深めることができた。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students understand the history of Neo Confucianism and the way of learning and thinking in traditional China.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) 「場所」から語る中国近世儒学史 序論
  - 2) 「鵝湖の会」伝説
  - 3) 白鹿堂書院
  - 4) 楊簡と慈湖の物語
  - 5) 場所の物語としての「婺学」
  - 6) 宋元交替期の遺民の物語～冬青樹と嚴子陵釣台～
  - 7) 天泉橋問答
  - 8) 羅洪先の記録1：「冬遊記」
  - 9) 羅洪先の記録2：二つの「夏遊記」
  - 10) 青原の会と水西の会
  - 11) 紹興證人会と「白馬別会」
  - 12) 姚江書院
  - 13) 全祖望の記録1 書院について
  - 14) 全祖望の記録2 蔵書楼について
  - 15) まとめ

方法：講義形式で行うが、演習や討議も取り入れる。受講者はあらかじめ配付された資料等に目を通しておくこと。また、授業で取り上げる諸問題について、討議を行うこともあるので、主体的に参加すること。
8. 成績評価方法：

評価項目としては、授業中に課す課題(20%)、事後に課すレポート(60%)、授業における発言(20%)をもとに、総合的に評価する。
9. 教科書および参考書：教科書は特に使用しない。プリントを配布する。

参考書：湯浅邦弘編『中国思想基本用語集』（ミネルヴァ書房）、小島毅著『朱子学と陽明学』（ちくま学芸文庫）
10. 授業時間外学習：事前に配布する講義資料について、一通り目を通しておくこと。事後に、講義資料を原典の文脈に立ち返って確認しておくこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
12. その他：特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB54205 科目ナンバリング：LHM-PHI302J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明代の儒仏道三教思想

2. Course Title (授業題目)：Three teachings during the Ming Dynasty

3. 授業の目的と概要：本講義は、明朝前半における儒仏道三教思想の実態解明を目的として、明朝の宗教政策や知識人士大夫による三教観、仏者による道教批判、老子注に見える三教一致思想などを解説する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this lecture is to clarify the actual situation of the three teachings in the first half of the Ming dynasty. It will be conducted by explaining the religious policy of the Ming dynasty, the view of the three teachings by the intellectual scholar official, the criticism of Taoism by the Buddhist priests, the idea of the three teachings in Laozi's notes, and so on.

5. 学習の到達目標：

明代思想史における儒仏道三教の位置づけを把握する。

三教思想の個別形態を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand both the position of three teachings and their individual aspects in the intellectual history of the Ming dynasty.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：研究史概観

第3回：洪武・永楽朝における宗教政策

第4回：明代前期知識人の三教観①

第5回：明代前期知識人の三教観②

第6回：『尚理編』と『尚直編』①

第7回：『尚理編』と『尚直編』②

第8回：陳献章と太虚法師①

第9回：陳献章と太虚法師②

第10回：王守仁の三教観

第11回：祝允明の三教観とその余波①

第12回：祝允明の三教観とその余波②

第13回：嘉靖期における老子注と三教①

第14回：嘉靖期における老子注と三教②

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

レポート (50%)

授業時間内における討論への参加度 (50%)

9. 教科書および参考書：教科書は使用せず、プリントを配布する。参考書は授業時間内に紹介する。

The text will be handed out during the course. Reference books will be introduced during class.

10. 授業時間外学習：授業で解説した文献史料を改めて精読する。その文献に記された内容の思想史的位置を考える。

Carefully read the historical documents explained in the class. Consider the ideological position of the content described in the document.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：特になし。

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛

コード：LB53204 科目ナンバリング：LHM-PHI310J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国思想関係論文講読

2. Course Title (授業題目)：Study in the reserches for Chinese thought

3. 授業の目的と概要：中国古代中世思想研究についての学術論文から、重要なもの数点を選んで精読する。学術論文について、研究史の視点を持ちながら的確な読解と批評をおこなう能力を養うのが本演習の目的である。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course students will read several significant articles on Chinese ancient and medieval thought. This course aims to improve students ability to review and criticize articles accurately, understanding articles in context of reserch history.

5. 学習の到達目標：

学術論文の論旨を理解し、その意義を評価できる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students gain the ability needed to read and value articles correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入

2. 中国古代思想関係論文会読 1

3. 中国古代思想関係論文会読 2

4. 中国古代思想関係論文会読 3

5. 中国古代思想関係論文会読 4

6. 中国古代思想関係論文会読 5

7. 中国古代思想関係論文会読 6

8. 中国古代思想関係論文会読 7

9. 中国中世思想関係論文会読 1

10. 中国中世思想関係論文会読 2

11. 中国中世思想関係論文会読 3

12. 中国中世思想関係論文会読 4

13. 中国中世思想関係論文会読 5

14. 中国中世思想関係論文会読 6

15. 中国中世思想関係論文会読 7

8. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)

9. 教科書および参考書：教科書は使用せず、プリントを配布する。

10. 授業時間外学習：予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：三浦 秀一

コード：LB63204 科目ナンバリング：LHM-PHI310J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『大学或問』講読
2. Course Title (授業題目)：Critical Reading of "Daxue Huowen"
3. 授業の目的と概要：『大学或問』とは、近世中国を代表する思想家・朱熹（朱子、1130-1200）が、『大学』の理解を助けるために編纂した書物であり、朱熹自身の『大学』注釈である『大学章句』とともに、近世期の東アジアにおいて多くの読者を獲得した思想入門書である。授業は演習形式でおこない、担当者は、『大学或問』の文章をわかりやすい言葉で和訳するとともに、この書物が引く『論語』や『孟子』などの古典や諸儒の語録などに関しては、原典を調べ、その成果を注釈として紹介する。そのうえで受講者は、担当者による和訳や注解に対して意見を提出し、全
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Students will study how to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese in their specific philosophical contexts. Punctuating and translating the original texts into Japanese is an integral part of the course. The purposes of this course are learning to read Chinese classics correctly, which are foundations of learning Chinese philosophy, and learning the knowledge of Chinese ancient thought.
5. 学習の到達目標：  
朱熹の『大学』解釈を原典に即して理解する。道学系文献の読解方法を習得する。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will develop their abilities to read, appreciate and analyze texts in classical Chinese.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
第1回：ガイダンスとテキスト等の紹介  
第2回：訳注方法の例示、担当者の決定  
第3回～第15回：各担当者による『大学或問』訳注の発表、および受講者との発表内容の吟味
8. 成績評価方法：  
発表内容（50%）、参加態度（50%）
9. 教科書および参考書： 初回授業時にプリントを配布する。参考書は授業中に紹介する。  
The text will be handed out at the beginning of the course. Reference books will be introduced during class.
10. 授業時間外学習：漢和辞典を活用した、徹底的な予習。  
Thorough preparation using a Chinese-Japanese character dictionary.
11. 実務・実践的授業/Practical business：  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business
12. その他：特になし。